

＜靈的備え＞

私は心を尽くして 私は主に感謝をささげます。
あなたの奇しいみわざのすべてを語り告げます。
私はあなたを喜び 誇ります。いと高き方よ あなたの御名をほめ歌います。(詩篇 9:1-2)

＜理解の手引き＞

ここでは、蛇が人と会話をし、人を誘惑し、罪に陥れます。これは普通の動物とは、様子が違います。その背後に蛇を使う存在、サタンを考えざるを得ません。

蛇は人の誘惑に際し、一心同体ではあるが、神から直接には命令を受けていない助け手の女性を用いたのです。蛇は神の言葉を改ざんし、神が人を束縛する存在であるかのような印象を与え(1節)、神の唯一の禁令を過度に意識させるのです。女はそんな蛇の誘惑に乗せられ「それに触れてもいけない」(3節)という言葉をつけ加えて、神の言葉を変えてしまいました。その女に蛇は畳みかけます。神は人の目が開き、人が神のようになり、善悪の知識を得ることがないように、あの木の実を食べないようにと言ったのだと。こうして蛇はついに、神の言葉を否定し、神への信頼を失わせたのでした。このように悪魔の誘惑というのは、徐々に、弱い所からやってくるのです。

＜考えてみよう＞

(観察) 蛇が女をどのように誘惑していったか、段階を追って観察してみましょう。

.....
.....
.....

(解釈) 何故、女は蛇の誘惑に陥ってしまったのでしょうか？

.....
.....
.....

(適用) ここから、罪の誘惑に対して、どのようなことを学ぶことができますか？

.....
.....
.....

＜心に残ったみことばや気づき＞

.....
.....
.....

＜今日の祈り＞ (教えられたことを短い祈りで表す)

.....
.....
.....